

久我山だより

令和5年6月30日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

言葉とコミュニケーション

主幹教諭 金城 啓太

自分で言うのもなんですが、先日、ちょっと善いことをしました。買い物に行った店の前の交差点で、中年男性同士のけんかを止めたのです。自転車の方と徒歩の方が接触しかけたようで、信号が赤に変わっているにも関わらず、道路の真ん中で互いに罵り合っていました。車道で危険ですし、殴り合いになりそうなところだったので止めに入り、なんとか引き離すことができました。

ニュースでは、同じようにすれ違い様にけんかになり、けがや命に係わる事件になったケースも見かけます。救急車を呼ぶような騒ぎにならず本当によかったです。

とてもきつい言葉が飛び交う大人のけんかを目の当たりにして考えたのは、言葉の力とコミュニケーションを図ることの大切さです。

学校において子どもたちは、友達と一緒に学び、遊び、それらの活動の中で協力し、時にはけんか等のトラブルを経験しながら、コミュニケーション能力を伸ばしています。だから、子どもたちにとって、トラブルを乗り越える経験

はとても大切なものです。友達と切磋琢磨しながら、道端でけんか等のトラブルに巻き込まれない大人になって欲しいです。

そのため、日々、子どもたちを指導する際は、言葉を大切にしたいと思っています。トラブルの際、つい相手のことを言いがちですが、その場合攻撃的になることが多いです。(Youメッセージ) そうではなく、自分のこと、自分の思い(Iメッセージ)を伝えることができれば、互いの理解につながりやすくなります。思いを言葉にするのは難しいことですが、学校生活の中で少しずつ経験を積んでいって欲しいです。

本校では昨年度から「人権教育」について研究をしています。様々な人権課題を知り、多様性の理解や人権意識を高めることは、これから生きていくために大切なことです。それらの学習の中で、互いを尊重する思い、心の部分も育て、上手にコミュニケーションをとれるようになって欲しいです。

7月の生活目標

言葉遣いに気を付けよう

1学期も残り数週間。子どもたちは新しいクラスに慣れ、新しい友達と仲良く過ごしている姿をよく見かけます。ただ、話し声に耳を傾けると、乱暴な言葉遣いをしていたり、強い口調で話していたりすることがあります。それが当たり前になってしまうと、クラスの雰囲気悪化につながりかねません。改めて、相手が聞いていて気持ちの良い言葉遣い、場に応じた言葉遣いに気を付けて、1学期を終えられるように指導していきます。

(生活指導委員会 中西 壱聖)